

第3章 本県が目指すべき社会資本整備

前章で記述した現状と課題を踏まえ、
本県の社会資本整備を進める上での基本理念を、以下の通り定めます。

～活力があり快適で、安全安心な
やまなしを未来へつなぐ～

本県では、中部横断自動車道やリニア中央新幹線などの県民の生活に豊かさをもたらす国家規模のプロジェクトが進行中です。これをチャンスと捉え、交通ネットワークや山梨の持つ豊かな自然をいかし、活力があり快適な社会を構築することを目指します。

また、台風等による甚大な水害や土砂災害、富士山の火山噴火、大規模地震の発生など、県内への影響が懸念されている自然災害に備えるため、防災・減災の取り組みを進め、県民が安心して生活できる社会を構築していきます。

さらに、人口減少社会に対応したインフラ長寿命化の取り組みなど、持続可能な社会を構築していきます。

こうしたことから、県民一人ひとりが豊かさを実感できる社会を目指し、未来へ引き継いでいくため、本計画の基本理念を「～活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ～」と定めます。

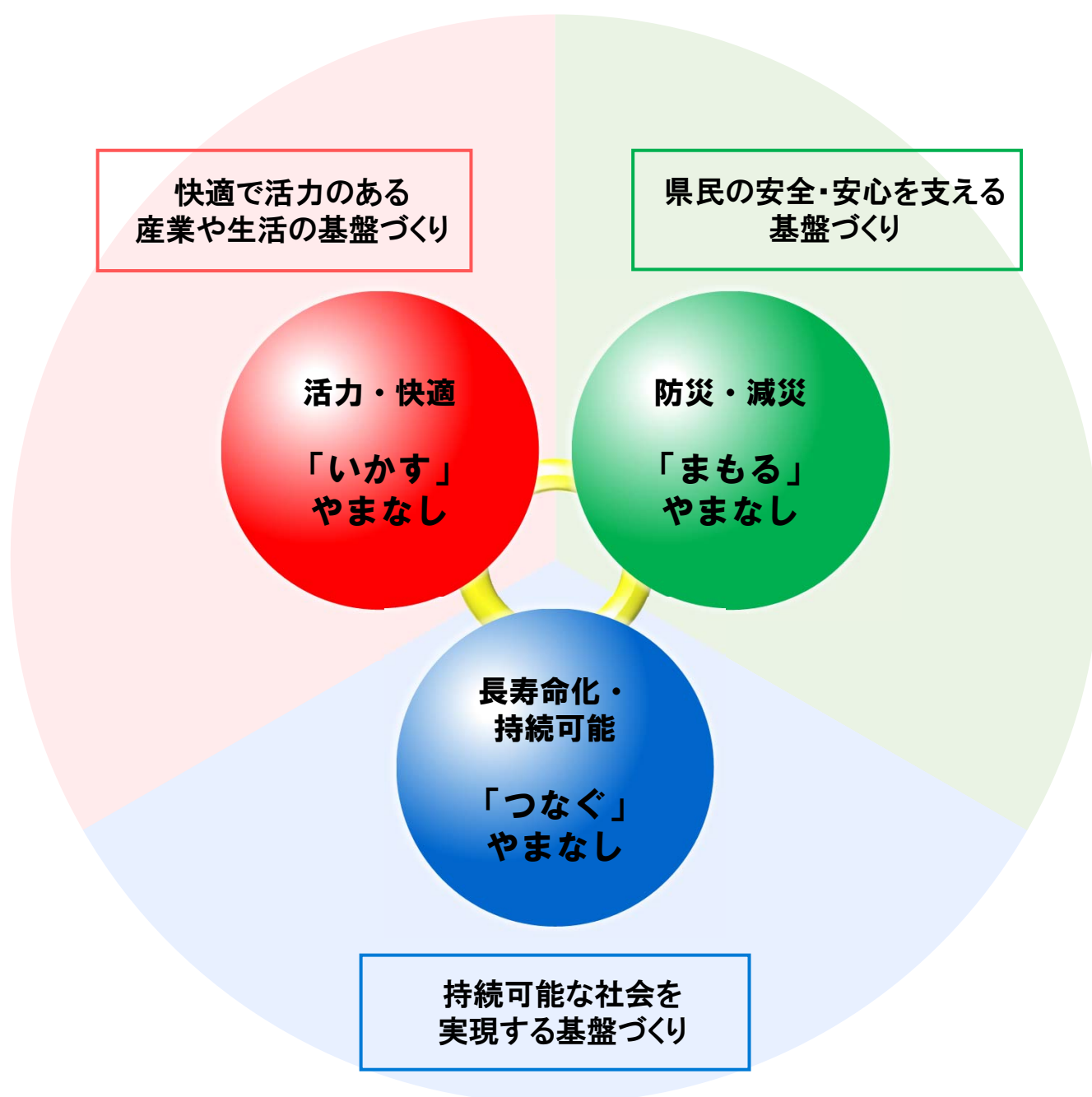


基本理念である『～活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ～』の実現に向け、今後の8年間で着実に成果を挙げていくため、選択と重点化により社会資本整備を推進していく必要があります。

本計画においては、「活力・快適」、「防災・減災」ならびに「長寿命化・持続可能」を3つの柱として示し、取り組みを進めます。

また、本計画は山梨県総合計画及び山梨県強靱化計画の下位計画であることから、それらの計画との整合性を図り、連携しながら取り組みを推進します。

■社会資本整備を推進するための3つの柱



“社会資本整備を推進するための3つの柱”のそれぞれについて、前章で述べた課題を踏まえ、「目指す将来像」を描きました。

活力・快適
「いかす」
やまなし

課題

- ❖ 高速交通ネットワークが構築されることにより、期待される効果を県全域に波及させるための整備が必要です。
- ❖ 本県の優れた地域資源を利活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要です。

目指す将来像

交通ネットワークや、山梨の持つ豊かな自然を**いかし**、
活力があり、快適な社会が構築されています。

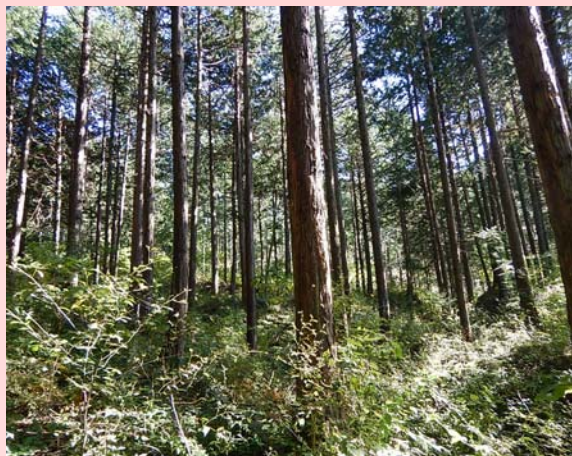
■リニア中央新幹線(実験線)



■ネットワークを形成する高規格幹線道路



■適切に管理された人工林



■区画整理後の農地





課題

- ❖ 災害に対する県土の強靱化を図り、ハード・ソフトの両面から、県民の生命・財産を守るための社会資本整備が必要です。
- ❖ すべての人が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要です。

目指す将来像

防災・減災が進み、県民の生命と財産が**まもられ**、
安心して生活できる社会が構築されています。

■河川改修・土砂災害対策の例



■富士山火山防災避難路整備のイメージ



■法面の防災対策の例



■耐震化対策済みの橋梁



■安全対策が実施された通学路





課題

- ❖ 将来に向けて、効果的・効率的で持続可能なインフラ長寿命化の取組が必要です。
- ❖ 人口減少社会に対応し、持続可能な社会を構築していくことが必要です。

目指す将来像

インフラが適切に機能するなど、まちをあるべき姿で未来へつなぎ、持続可能な社会が構築されています。

■インフラの長寿命化に向けた点検の様子



■インフラの長寿命化対策の例



■公民館として利活用した空き家



■景観セミナーの様子



社会資本整備を推進するための3つの柱全てに関連して、社会資本整備を効果的・効率的に進めるために、課題と目指す将来像を整理しました。

**社会資本
整備を効果的に
進めるための
施策**

課題

- ❖ 建設業の担い手不足が問題となっており、建設業界の質の向上が必要です。
- ❖ 厳しい財政状況に対応した、効果的、効率的な公共事業の実施が必要です。

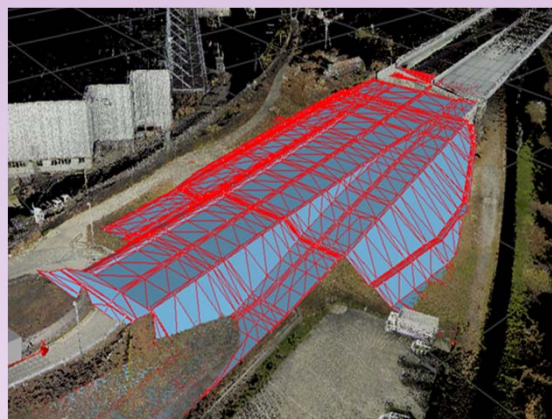
目指す将来像

**建設現場の生産性が向上し、担い手が確保され、
将来にわたり安定した社会が構築されています。**

■MGブルドーザによるICT施工



■3D設計データ



■高校生の現場見学会の様子



■公共事業評価委員会の様子

